

【市民講演会】

健康食品は 本当に効くのか？

～見極め方と向き合い方を考える～



おの
大野

ちか
智

先生

市民の健康に対する関心の高まりもあってテレビ、週刊誌、ネットなどでは様々な健康食品の情報があふれています。これに対して国は健康上の被害や安全性に関して不安を与えることのないよう、制度上の環境整備を行っています。その一方で、近年、一般にこれまで飲食に供されることのなかったものや特殊な形態のものなども、「健康食品」として流通するようになり、健康被害の発生が心配されています。

そこでこの度、健康食品の情報に詳しい大阪大学大学院の大野 智 准教授より「情報に対しての見極め方と向き合い方」をご講演いただくことになりました。健康づくりにおいては、バランスの取れた食生活を送ることが大切です。その上で「健康食品」を利用するにあたっては、一人一人が自分の食生活に応じた適切な選択をする必要があります。

今回の市民講演会が健康食品への正しい理解と使用につながり、健康づくりの一助となれば幸いです。皆さまのご来場をお待ちしています。

● 大阪大学大学院医学系研究科
統合医療学寄附講座 准教授

● 帝京大学臨床研究センター 客員准教授

1998年 島根医科大学卒業後、同大学第二外科（消化器外科）入局。2002年 島根医科大学大学院にて医学博士取得。その後、金沢大学、東京女子医科大学、帝京大学等を経て現職。

これまでに「がんの補完代替医療ガイドブック（厚労省研究班）」「統合医療情報発信サイト（厚労省委託事業）[<http://www.ejim.ncgg.go.jp/>]」「がんの補完代替療法クリニカルエビデンス（日本緩和医療学会）」の作成に従事。

現在、緩和ケアの診療に従事しながら、朝日新聞医療サイト「アピタル」にて医療・健康情報の見極め方をテーマにコラムを執筆中。

プロフィール

平成29年

7/29 土

午後2:00～3:00

キャッスルホテル能代

（能代市元町）

主催 一般社団法人

能代市山本郡医師会